

特別委員会委員長報告

特定の課題を審査するために設置された特別委員会は、それぞれのテーマに基づき、1年間施策の検討を行ってきました。その内容を抜粋して掲載します。

議会活性化特別委員会

委員長
山本行男

主に2つのテーマについて、1年間協議し、次の通りまとめました。

(1) 常任委員会における政策立案サイクルについて

1年間かけて調査研究するテーマを設定し、閉会中も所管事務調査を積極的に行うこととする。

(2) 行政の事務事業を評価するための仕組みについて

- ① 市で行っている約1,100件の事務事業全てについて、予算編成時に「事業の成果と指標」を明示し、最終達成目標・目標年度・当年度目標を設定して予算書に記載すること。そして、決算審査時には、すべての事務事業について成果の達成状況を明示すること。
- ② 議会は、この仕組みを通して審査し、評価していくものとする。

掛川市議会が、市民の負託に応える責任ある議会の確立に向け、日々議会改革に取り組むことを望み報告とします。



行政視察で行ったワークショップの様子
(早稲田大学マニフェスト研究所)

公共施設マネジメント推進特別委員会

委員長
山本裕三

特別委員会として、3つの成果がありました。

1つ目は、13の公共施設をモデルケースとした現地調査により、公共施設マネジメントの課題を明確化したこと。

2つ目は、視察や議員間討議により、今後策定される公共施設再配置計画の在り方を議会として提示したこと。

3つ目は、議会報告会で公共施設インフラの老朽化が与える影響を広くお伝え出来たこと。

今後の公共施設マネジメントの更なる推進を通し、将来にわたり安心安全が守られることを望みます。



市内公共施設の現地視察の様子